

〈学校教育目標〉 学び合う 支え合う 鍛え合う



やさしさいっぱい 元気いっぱい チャレンジいっぱい

雨竜小学校だより

発行 雨竜町立雨竜小学校

校長 三好考央

令和5年11月30日

第13号

## ドンマイ（気にするな）よりナイストライ

11月11日に行われた北空知PTA連合会研究会で講師の田中賢介氏が多くのことを教えてくれました。

『ドラフトに関係するような選手の技術は大差はない。選んでいるのは一つのこと努力を続けられる人材である。そうでなければ、プロでは通用しない。技術よりも人間性を重視している。』なるほどである。野球だけではありません。子供が成長していくためにとても必要な要素です。こつこつと頑張れることの大切さは日々伝えるべきことです。

『日本ではスポーツでミスをしたときに「ドンマイ、気にするな」と励ますが、アメリカでは「ナイストライ」と言う。失敗したことを慰めるのではなく、挑戦したことを讃えるのである。』三振したことを慰めるより、「難しいボールにも負けずにチャレンジしていったのがよかったよ。ナイストライ」と言う方が受け取る方はどんな気持ちになるでしょう。

子供は失敗をしながら成長していきます。大人から見ると、「何でそんなことするの？何でそんなこともできないの？」と思える場面はたくさんありますが、その子なりの挑戦がそこにはあったのかという見方をすると、かける言葉も変わってきます。

このように考えると、日常お子さんと接している中で、「ナイストライ」と声をかけられる場面は意外と多いのではないのでしょうか。結果だけ見てその子に評価を与えるのではなく、その過程を大切に、失敗を恐れず何にでもチャレンジできる環境を創ってあげることが必要です。

周りの大人がみんな「ナイストライ」と言えるようになるといいですね。

子供が失敗したときの対応について考えるきっかけとなってくれれば幸いです。



## ファイターズ選手との交流 11月21日(火)

ファイターズのスーパースター万波選手、矢沢選手の2名が雨竜小学校を訪問してくれました。子供たちはもちろん職員も大興奮でした。

子供たちとは一緒にだるまさんが転んだをしてくれたり、質問に答えてくれたり終始和やかに会が進められました。2人とも気さくに接してくれ大変好感が持てました。子供たちにとってこのようなことはキャリア教育の一環であると考えています。大活躍をしている人に触れることで、「次は自分も！」と少しでも考えるきっかけづくりとなります。今回の訪問で全校児童の心にそれぞれのメッセージが届けられたことでしょうか！



↑サイン入りボールをプレゼントしてくれました。

## 漢字フェスティバル

学力向上策の一環として、全校統一して行いました。ご家庭でもこの取り組みに向け学習を進めていたことと思います。大半の児童が80%以上の得点をクリアーし合格という結果でした。学校全体が漢字フェスティバルに向けて頑張るという意識が高まっていました。今後も子供たちが意欲的に学習が進められる取り組みを行っていきたいと考えています。



真剣に取り組む1年生(左)  
5年生(右)